

# 4月号 風の子だより



社会福祉法人のゆり会 たかさご保育園  
<http://www.takasago-hoikuen.com>

待ちに待った春がやってきました。  
 進級、入園おめでとうございます。  
 「〇ぐみさ~ん」と呼ばれる子ども達の顔つきは、  
 一様に自信に満ちたニコニコ顔です。  
 さて、話は変わりますが、フランスでは「自分の  
 子どもを誰かと比べる事が一番いけないことだ」と  
 言われているそうです。  
 さすが「個人主義の国」。  
 子どもの良いところをたくさん見つけてあげて、そ  
 れを上手に伸ばしてあげるのが、私たち大人の務め  
 なのかもしれません。  
 保育園では保育園の目標である「心豊かな子ど  
 も」の育ちをご家庭と共に支えて参ります。  
 本年度もどうぞ宜しくお願いいたします。

職員一同



- 1才おめでとう あゆちゃん
- 2才おめでとう あつしくん  
たくとくん
- 3才おめでとう おうがくん
- 5才おめでとう そらくん  
くらのすけくん
- 6才おめでとう つぐみちゃん  
きらりくん



4月の予定		
1	日	
2	月	入園・対面式
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	防災訓練
7	土	
8	日	
9	月	ちゅっちゅこっこ★青空保育(5才)★ PPD
10	火	ポニー活動★
11	水	
12	木	
13	金	防犯訓練
14	土	012才懇談会
15	日	「171」体験日実施 →裏面参照
16	月	ちゅっちゅこっこ★・PPD・発達相談の日★
17	火	
18	水	照子おばちゃんのお話会
19	木	
20	金	345才懇談会
21	土	
22	日	
23	月	乳児誕生会・ちゅっちゅこっこ★
24	火	0才検診・健康相談の日★
25	水	
26	木	
27	金	幼児誕生会★
28	土	
29	日	
30	祝	
★印は地域の方も参加できます。お誘い合せの上ぜひいらしてください！予定は急遽変更になる場合がありますのでお問い合わせ下さい。		

## こんにちは 第1回 うさぎ組です

3月の最終週からうさぎ組の保育室での生活がはじまりました。

新しいクラスに移動する時には、一人ひとりのかごの中に、自分のマイドールを入れて、新しい自分の棚にお引越しをしてくれました。その時のなんとも言えないうれしそうな表情！

またお食事のときにも、お茶碗に手を添え、自分でしっかりとスプーンを持って食べて一言「ホラ、オニイチャンニナツタカラジョウズデショ？」と得意げな子どもたち。

進級した嬉しさが生活の色々なところで見られています。新たな環境への不安よりも、好奇心とこれからの生活への期待感の方がいっぱいようですね。

うさぎ組での一年も、笑顔いっぱい毎日楽しいのだろうなあ～と私たち職員も楽しみにしています。

## ちゅっちゅこの会

保育園では下記のように「ちゅっちゅこの会」（わらべ歌の会）を講師（兼子耐子氏）を招いて開催しています。わらべ歌は文字が一般化していない時代から、目と目を合わせ語ったり、歌ったり触れ合ったり…人と人とがよりよく生きるコツを、先人たちがわらべ歌に込め、伝承されてきました。地域の方へも紹介しています。保護者の方もお時間ありましたら是非どうぞ！

日時：毎週（月）9：30～

場所：保育園 年齢毎の教室にて

## 入園式が行われました

0才の新入園児17名、2才児1名がたかさご保育園の新しい仲間になりました。

新入園児の名前が紹介されると4、5才の子ども達から名前が呼びかけられ、和やかな式となりました。

最後に在園児から「♪～チューリップ」と

「♪～保育園ってなんて楽しいんだろう」（：当園元職員作詞作曲）の歌で歓迎しました。



## 「171」伝言ダイヤル

当園ではNTTが設置する「災害伝言ダイヤル」体験を利用して、毎月15日園が伝言を発信し、保護者の方に確認して頂く練習を行っています。下記のような流れで行いますので、是非体験ください。

- ① 毎月15日のAM9～「171」に電話
- ② 保育園の電話番号を入力
- ③ 伝言を確認下さい。

尚、災害時は、携帯ホームページでも掲示板を利用した安否確認等も行います。

詳細は別紙お便りを、後日発行いたします。

## 保育園での「教育」

第1回

保育園は「保育所保育指針」（厚生労働省）に基づき保育が営まれています。

その中で「保育所は擁護と教育を一体的に行う」と示されています。

教育の3才以上児は幼稚園教育要領とも連動し、①健康②人間関係③環境④言葉⑤表現の5領域からなっております。

例えば「言語」の領域では

「心情」…言葉で表現する楽しさ

「意欲」…人の話を聞いたり、伝える喜び

「態度」…絵本等に親しみ友達と心通わせる

等々、領域ごとにねらいがあり、私たち保育者の保育の柱となっております。